


取扱説明書

つなぎかたガイド

IPoE対応ルーター 01

NWA-A06552-003-00  
2020 年 8 月



本書は、読んだあと大切に保管してください。

技術基準適合認証品

ユーザーズマニュアルは製品サポートページに掲載の「ユーザーズマニュアル」を参照してください。(● 下記「本機器の取扱説明書について」)

IPoE対応ルーター 01 (以下、本機器と呼びます。 ) は、IEEE802.11ac、IEEE802.11n、IEEE802.11a、IEEE802.11g、IEEE802.11bの無線LAN規格に準拠したWi-Fi (無線LAN) ホームルータです。

箱の中身をチェックしよう

不足しているものがありましたら、別紙に記載の  
お問い合わせ窓口にご連絡ください。

＜添付品＞

☐ IPoE対応ルーター 01 本体

☐ スタンド

☐ AC アダプタ

☐ LAN ケーブル (カテゴリ 5e ストレート)

☐ つなぎかたガイド (本書)

☐ Wi-Fi 設定シート (シール)

※ AC アダプタの形状は、変更になる場合があります。

※ 5e 以下の QR スタート用 QR コード、  
らくらく「かざして」スタート用 NFC  
タグなどが記載されています。

スタンドの取り付けかた

■横置きの場合  
本体底面に差し込みます。

■横置き / 壁掛けの場合  
本体上部に差し込みます。

① スタンドの左右のツメを、本体 (底面または上部) の左右の穴に差し込む。  
② スタンドを傾け、中央のツメを、本体 (底面または上部) の中央の穴にカチッとまで差し込む。

③ スタンドの取り外しかた  
そのままスタンドを引き抜いてください。

本機器の取扱説明書について

本機器の取扱説明書は下記のように構成されています。(2020 年 8 月現在)

●つなぎかたガイド (本書)

基本的な接続パターンを例にして、インターネットが使えるようになるまでの接続・設定手順を説明しています。また、ご使用前に確認していただきたい注意事項、トラブルシューティングも記載しています。

●ユーザーズマニュアル (Web サイトに掲載)

本機器のさまざまな機能を利用してできることを、わかりやすい操作・設定手順で説明しています。  
また、本機器の基本事項についても記載しています。  
→ 右記 QR コードまたは下記から参照してください。  
製品サポートページ ( https://www.aterm.jp/si-support/ntcm1/ )  
※ 本機器は N E C プラットフォームズ株式会社の製造機器であるため、N E C プラットフォームズ株式会社のページを案内しています。

各部の名称

IPoE対応ルーター 01

POWER ランプ (電源)  
ACTIVE ランプ (通信状態表示)  
2.4GHz Wi-Fi ランプ (2.4GHz 帯 Wi-Fi 通信状態表示)  
5GHz Wi-Fi ランプ (5GHz 帯 Wi-Fi 通信状態表示)  
TV ランプ (TV モード通信状態表示)  
SUPPORT ランプ (遠隔サポートや Wi-Fi 引越モードの状態を表示)

らくらくスタートボタン  
らくらく無線スタートおよび WPS 設定時に使用。

LAN ポート

WAN ポート

AC アダプタ接続コネクタ

RESET スイッチ  
初期化するときに使用。

遠隔サポートボタン  
サポートセンターのオペレーターによる遠隔サポートを受ける場合に使用。  
※ 遠隔サポートをご利用いただけるお客様は「遠隔サポートの使いかた」のご案内が同梱されています。

本機器の設定を変更する場合は  
IPoE 対応ルーターに接続した機器 (端末) で、下記 QR コード、または Web ブラウザのアドレス欄に下記 URL を入力指定してください。

クイック設定 Web の起動方法

右記 QR コード、または Web ブラウザのアドレス欄に下記を入力して起動してください。  
http://aterm.me/

※ 本機器は N E C プラットフォームズ株式会社の製造機器であるため、上記の記載となっております。  
※ [aterm.me] 部分を、本機器の IP アドレス (工場出荷状態は 192.168.10.1) にして起動することもできます。  
※ 複数固定 IP サービスを利用する場合、Web ブラウザのアドレス欄には、「プロ/イダから割り当てられた本機器のグローバル IP アドレス」を入力してください。  
※ ログイン画面が表示された場合は、「ユーザー名」には [admin] と半角小文字で入力し、「パスワード」には本機器のラベルに記載された数字 6 桁のパスワード (Web PW) を入力して、「ログイン」をクリックしてください。  
なお、この管理者パスワードは、初期値から変更してください。複雑で長い文字列にして、安全性を高めることをお勧めします。管理者/パスワードを変更した場合は、クイック設定 Web 起動時には変更したパスワードを入力してください。忘れた場合は、本機器を初期化 (● 右記「初期化方法」) すると、本機器のラベルに記載された数字 6 桁のパスワード (Web PW) に戻ります。  
※ クイック設定 Web で設定した内容は、[設定] をクリックしたあと本機器を再起動することで登録されます。

STEP 1 IPoE対応ルーター 01を設置して電源を入れよう

前後左右5cm、上5cm以内に他の機器や壁などがない場所に設置してください。  
※ 壁掛けの場合は、壁掛け用金具を使用してください。

IPoE対応ルーター 01

RT 側のままにしておいてください。

LANケーブル (添付品)

WANポート

LANポート (パソコンなどと接続するためのポート)

ACアダプタ 接続コネクタ

電源コンセント

有線LANポートを持ったパソコン

回線終端装置など

カチッと音がするまで差し込んでください。

フレッツ光 ネット網

初期化方法

正常に動作しない場合や工場出荷状態に戻したい場合は、下記の手順で初期化してください。お客様にて設定した内容は消去されます。なお、初期化後に復元、クイック設定 Web (トップメニュー画面) の「設定情報の保存」ボタンにて現在の設定内容を保存すれば、初期化後に再度画面にて復元することが可能です。

1 本機器の POWER ランプが緑点灯していることを確認する  
※ 電源を入れ直した場合や電源を入れた直後の場合は、約 60 秒お待ちください。

2 RESET スイッチを細い棒状のもの (電気を通さない材質のもの、つまようじの先など) で押し続け、POWER ランプが赤点滅はじいたら放す  
※ POWER ランプが赤点滅を止めるまで約 6 ~ 10 秒かかります。

3 本機器から AC アダプタのプラグを取り外して、約 10 秒待ってから差し込む

4 約 80 秒待つ  
※ 側面 (表) のランプが一斉に緑点滅したあと、POWER ランプが緑点灯したら初期化が完了します。

STEP 2 子機から本機器にWi-Fi接続しよう

★本書では、スマートフォンやパソコン、ゲーム機など、本機器と無線LANで接続(Wi-Fi接続)する端末のことを子機と呼びます。  
他のルーターのWi-FiがONになっている場合は、干渉してしまう場合がありますので、本機器以外のルーターのWi-FiはOFFにしてからご使用ください。

ご利用の子機から本機器に Wi-Fi 接続するには、  
本機器のネットワーク名 (SSID) および暗号化キーをご利用の子機に設定します。  
(接続する子機は、15 台以下をお勧めします。)

詳細な Wi-Fi 接続方法は、子機の取扱説明書などを参照してください。  
※ 無線チャネルが W56 に対応していない子機をご利用の場合は、本機器の「使用チャネル」を「W52」または「W53」に設定してください。設定は、「クイック設定 Web」(● 左記「クイック設定 Web の起動方法」) の「Wi-Fi (無線 LAN) 設定」→「Wi-Fi 詳細設定 (5GHz)」画面で行ってください。

スマートフォン / タブレット端末の場合

らくらく「かざして」スタートで Wi-Fi 接続する

同梱の Wi-Fi 設定シートの NFC タグを利用しますので、お手元を用意してください。

Aterm らくらく「かざして」スタートは、インターネット接続機能 (LTE 通信や 3G 通信など)、カメラ機能に対応している端末で、無料でご利用いただけるアプリです。ただし、パケット通信料はおお客様ご負担となります。利用可能な端末の最新情報は、下記の Web サイトでご確認ください。  
(2020 年 8 月現在)

https://nfc.setup.aterm.jp/

※ 本機器は N E C プラットフォームズ株式会社の製造機器であるため、N E C プラットフォームズ株式会社のページを案内しています。

※ Android 端末の場合は、NFC 機能を有効にしてください。設定方法は Android 端末の取扱説明書などを参照してください。  
※ iOS 端末の場合は、[設定] → [Wi-Fi] で「Wi-Fi」をオンにしてください。

1 [Aterm らくらく QR スタート] のアプリを検索して、インストールする  
※ 上記の Web サイトにアクセスしてもインストールできます。

2 ホーム画面などから [Aterm らくらく QR スタート] のアイコンをタップする  
※ 起動後、しばらくすると、カメラビューが表示されます。

3 カメラビューで、同梱の Wi-Fi 設定シートにある [らくらく QR スタート用 QR コード] を読み取る  
※ カメラビュー内の読み取り範囲内に QR コードを表示させてください。自動的に QR コードを読み取ります。  
※ Wi-Fi 設定シートは、下の貼り付け欄に貼り付けて保管することができます。

らくらく QR スタート用 QR コード

Wi-Fi 設定シート

4 Wi-Fi の設定内容が表示されたら、[設定適用] をタップする  
以上で Wi-Fi 接続の設定は終了です。  
(iOS 端末の場合は、以降画面に示がって設定を進めてください。)

らくらく無線スタートのマークから設定

※ 図は一例です。

Wi-Fi 接続手順および詳細は、ゲーム機 / プリンタなどの取扱説明書などを参照してください。

※ 以下は Wi-Fi 接続手順の概要です。  
① ゲーム機 / プリンタなどで、接続設定の画面内にある「らくらく無線スタート」を選択する  
② 60 秒以内に本機器のらくらくスタートボタンを長押し (約 6 秒) して、POWER ランプが緑点滅したら放す  
③ 本機器の POWER ランプが緑点滅に変わったら、30 秒以内にらくらくスタートボタンを長押しし、POWER ランプが緑点灯になったら放す

無線 LAN 内蔵パソコンの場合 (Windows の場合)

※ 自前のパソコンはサポート外となります。  
※ Windows 8.1 の場合は、[スタート] 画面で「デスクトップ」を選択してから始めてください。

1 パソコンの無線 (ワイヤレス) 機能を有効にする  
※ 設定方法は、パソコンの取扱説明書などを参照してください。

2 通知領域 (タスクトレイ) に表示されているネットワークアイコンをクリックする

3 ネットワークの一覧の中から、本機器のプライマリ SSID をクリックし、[接続] をクリックする  
※ 本機器のプライマリ SSID は、本機器のラベルに 2.4GHz 帯、5GHz 帯ごとに記載されています。映像視聴などの高速通信には 5GHz 帯の「ntcm1-XXXXXX-a」を選択するなど、ご利用環境によって選択してください。  
※ ネットワーク名 (SSID) を初期値から変更した場合は、変更したネットワーク名 (SSID) を選択してください。

4 本機器の暗号化キーを入力して [次へ] または [OK] をクリックする  
※ 暗号化キーとは、Wi-Fi 接続するためのパスワードです。セキュリティキー / パスフレーズ、ネットワークキーとも呼ばれます。  
※ 暗号化キーを初期値から変更した場合は、変更した値を入力してください。

WPS に対応した無線 LAN 内蔵パソコンの場合 WPS で設定できます。  
手順④の画面でボタン押下の案内が表示されたら、本機器のらくらくスタートボタンを長押し (約 6 秒) し、POWER ランプが緑点滅したら放します。しばらくして Wi-Fi 接続が完了すると、POWER ランプが約 10 秒間緑点灯します。

※ 本機器の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順④の画面で暗号化キーを入力してください。

以上で Wi-Fi 接続の設定は終了です。



## 安全にお使いいただくために必ずお読みください

ここでは、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本機器を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。なお、さらに詳細な内容を「[ユーザーズマニュアル](#)」に記載しておりますので、そちらもあわせてお読みください。

### 本書中のマーク説明

- 警告**：人が死亡する、または重傷（※<sup>1)</sup>）を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意**：人が軽傷（※<sup>2)</sup>）を負う可能性が想定される内容、および物的損害（※<sup>3)</sup>）のみの発生が想定される内容を示しています。
- お願い**：本機器の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

（※<sup>1)</sup> 重傷：失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中絶などで後遺症が残るものおよび治療入院や長期の通院を要するものをさしています

（※<sup>2)</sup> 軽傷：治療入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをさしています。

（※<sup>3)</sup> 物的損害：家屋、家財および家畜、ペットなどにかかわる拡大損害をさしています。

図記号の説明
<div> <div> <div>■ 警告・注意を促す記号</div> <div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> <div> <div>■ 行為を禁止する記号</div> <div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> </div> <div> <div>■ 行為を指示する記号</div> <div> <div></div> <div></div> </div> </div> </div></div>
<div> <div> <div>発火注意</div> <div>感電注意</div> <div>高温注意</div> </div> <div> <div>破裂注意</div> </div> </div> <div> <div> <div>一般禁止</div> <div>分解禁止</div> <div>ぬれ手禁止</div> </div> <div> <div>水ぬれ禁止</div> <div>風扇等の使用禁止</div> <div>火気禁止</div> </div> </div> <div> <div>一般指示</div> <div>電源プラグをコンセントから抜く</div> </div>

# 警告

### 電源

- 100V AC の家庭用電源以外では使用しないでください。また、差し込み口が2 つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の AC アダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。
- AC アダプタは、たこ足配線にしないでください。

- AC アダプタは、必ず本機器に添付のものをお使いください。また、本機器に添付の AC アダプタは、他の製品に使用しないでください。

- AC アダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。

- 本機器に添付の AC アダプタは日本国内 100V AC (50/60Hz) の電源専用です。他の電源では使用しないでください。
- AC アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。また、AC アダプタは、電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。
- AC アダプタをコンセントに差し込んだ状態で、AC アダプタに強い衝撃や無理な力を与えたり、ねじったりしないで、まっすぐ抜き差ししてください。特に、回転式の抜け止め型コンセントへ抜き差しする場合には、無理な力をかけないように注意してください。

### こんなときは（本体および AC アダプタ）

以下の場合は、すぐに本機器の AC アダプタをコンセントから抜いて、別紙に記載のお問い合わせ窓口にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対にやめください。また、c、d、e のような使いかたはしないでください。

- 煙が出ている、変なおいがするなどの異常状態のとき

- 電源コードが傷んだ状態（芯線の露出・断線など）のとき

- 本機器を水や海水につけたり、ぬらしたとき

- 本機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落したりしたとき
- 本機器を落としたり破損したとき

### 禁止事項（本体および添付品）

- 本機器は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。
- 本機器を分解・改造しないでください。

- ぬれた手で本機器を操作したり、接続したりしないでください。

- 本機器の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。

### その他の注意事項（本体および添付品）

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本機器の電源を切ってください。
- 本機器は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。
- 本機器のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。
- 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。

# 注意

### 設置場所（本体および添付品）

本機器を設置する際は、必ず添付のスタンドを使用して、本機器の周囲に十分なスペースを確保してください。

また、設置の際は、以下のことにご注意ください。

- 本機器は温度 0 ～ 40℃、湿度 10 ～ 90%の結露しない環境でご使用ください。
- 本機器を重ね置きしないでください。

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほごりの多い場所に置かないでください。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本機器の上に重いものを置かないでください。
- 通風孔をふさがないようにください。次のような使いかたはしないでください。
 <悪い例>
  - 収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
  - じゅうたんや布団の上に置く
  - テーブルクロスなどを掛ける
- 大きな衝撃や振動などが加わる場所や垂直面以外の壁や天井などには設置しないでください。
- ベニヤ板などのやわらかい壁には設置しないでください。

- 狭い場所や壁などに近づけて設置しないでください。

### 電源

- 本機器の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず AC アダプタ本体を持って抜いてください。
- 本機器の電源プラグとコンセントの間のほころひは、定期的（半年に 1 回程度）に取り除いてください。
- お手入れの際は、安全のため必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 移動させる場合は、本機器の AC アダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本機器の AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 本機器の使用巾や使用直後に AC アダプタが高温になる場合があります。

### 禁止事項（本体および添付品）

- 本機器にのらないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器を接続したりしないでください。

### その他の注意事項（本体および添付品）

- 壁掛けて使用している場合、ケーブルの接続やスイッチの操作などを行う際には、必ず本機器を手で支えながら行ってください。
- 取扱説明書にしたがって接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

# お願い

### 設置場所（本体および添付品）

- 本機器をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となることがあります。このような場合は、お互いを数 m 以上離してお使いください。
- 本機器と子機の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。

### 禁止事項（本体および添付品）

- 本機器の電源を入れたあと、すぐに電源を切らないでください。60 秒以上の間隔をあけてから電源を切ってください。すぐに電源を切ると故障の原因となることがあります。
- 本機器の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入ると電源が入らなくなることがあります。

### 無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と本機器間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を見られる
  - 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を読み見られる可能性があります。
  - 不正に侵入される
    - 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
    - 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
    - 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
    - コンピュータウィルス等を流しデータやシステムを破壊する（破壊）
- 等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

なお、無線 LAN をより安全にお使いいただくために、本機器のネットワーク名（SSID）、暗号化キー（Wi-Fi 詳細設定）、PIN コードは「WPS 設定」で変更してください。変更は、[Quick 設定 Web](#) で行います。ネットワーク名（SSID）、暗号化キーは「Wi-Fi 詳細設定」、PIN コードは「WPS 設定」の画面で変更してください。

#### 本機器で使用しているソフトウェアについて

本機器には、GNU General Public License（GPL）または GNU Lesser General Public License（LGPL）に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを手入力、GPL または LGPL にしたがひ、複製、頒布および改変することができます。詳細は「[ユーザーズマニュアル](#)」を参照してください。

### 電波に関する注意事項

- 本機器は、技術基準適合証明を受けています。
- IEEE802.11ac、IEEE802.11n（5GHz 帯）、IEEE802.11a 通信利用時は、5GHz 帯域の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。
- 5GHz 帯で使用するチャネルは 36,40,44,48ch（W52）と 52,56,60,64ch（W53）と 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch（W56）です。従来の IEEE802.11a で使用の 34,38,42,46ch（J52）の装置と IEEE802.11a モードでの通信はできません。
 

IEEE802.11a/n/ac	・ W52（5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch）、
J52 W52 W53 W56	W53（5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch）、
	W56（5.6GHz 帯 /100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch）が利用できます。

 5GHz 帯で接続する子機は、以下の表示があるものを推奨します。
  - W52（5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch）
  - W53（5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch）
  - W56（5.6GHz 帯 /100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch）
- W53（52/56/60/64ch）または W56（100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch）を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
  - 各チャネルの通信開始前に、1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
  - 通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
- IEEE802.11n（2.4GHz 帯）、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用機内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
  - 1）本機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  - 2）万一、本機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本機器の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または本機器の使用を停止（電波の発射を停止）してください。
  - 3）その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、別紙に記載のお問い合わせ窓口にお問い合わせください。
- Bluetooth 機器との通信はできません。
- IEEE802.11n（2.4GHz 帯）、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

2.4	：2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
DS/OF	：DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
4	：規定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
■■■	：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する
IEEE802.11b/g/n	

- 本機器を 2.4GHz 帯で使用し、チャネル設定を手動で行う場合は、一般社団法人 電産産業会の ARIB 規格により下記内容が推奨されています。
 「この機器を 2.4GHz 帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャネル設定として CH1,CH6,CH11 のいずれかに行うことを推奨します。」
 ただし、無線 LAN 以外のシステムとの干渉を避けるために、推奨の 1,6,11ch 以外を使用しなければならない場合はこの限りではありません。（使用チャネルの設定方法は「[ユーザーズマニュアル](#)」を参照してください。）
- デュアルチャネル、クワッドチャネルを利用する場合は、同一周波数帯を使用する他の無線局に対して干渉を与える可能性があります。
  - デュアルチャネル、クワッドチャネルを「使用する」に設定する場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前にお確かめください。
  - 万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、すぐに「使用しない」に設定を変更してください。

#### 電波障害自主規制について

<div>この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。</div> <div>取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。</div> <div>VCCI-B</div>
---

### 高調波電流抑制対策について

<div>高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品</div> <div>※消費電力 75W 以下のため適合</div>
---

### 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用した場合、弊社は一切責任を負いません。また、弊社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。本製品の輸出（非居住者への役務提供等を含む）に際しては、外国為替及外国貿易法等、関連する輸出管理法等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、別紙に記載のお問い合わせ窓口にご相談ください。

#### ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 本機器の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。
- せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や雷電など）により故障してしまっは能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

### トラブルシューティング

ご利用にあたり、考えられるトラブルとその対処を下記に記載します。

※ 解決しない場合は、本機器を初期化（▼ 後面「初期化方法」）し、はじめから設定し直しをお試しください。

#### ■ POWER ランプが消灯している

- 電源が入っていません。**STEP1** を参照して、AC アダプタが確実に接続されていることを確認してください。
- 状態表示ランプ点灯設定「[ユーザーズマニュアル](#)」を「全消灯」に設定している場合は、POWER ランプが消灯します。

#### ■ 回線終端装置などが設置されていない場合の接続方法は？

マンションタイプのインターネット接続回線の場合、回線終端装置などが設置されていない場合があります。その場合は本機器の電源を切り、本機器の WAN ポートと壁などにあるインターネット接続口を LAN ケーブルで接続後、本機器の電源を入れてください。

#### ■ ルーター管理画面へのログインができない

- ご使用のパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされていたりする場合、設定ができなかったり、通信が正常に行えなかったりする場合があります。
- Web ブラウザの設定で JavaScript を無効に設定している場合は、有効に設定してください。
- IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してお試しください。

#### ■ 本機器を再起動したら、インターネット接続できなくなった

本機器を再起動すると Wi-Fi 接続が切断されますので、自動的に Wi-Fi 接続されない場合は、ご使用の子機から再度接続を行ってください。

#### ■ Aterm 5くらく QR スタートや Aterm 5くらく「かざして」スタートで、Wi-Fi 接続に失敗する

- Aterm 5くらく QR スタートの Web サイト（<https://qr.aterm.jp/>）（2020 年 8 月現在）または Aterm 5くらく「かざして」スタートの Web サイト（<https://nfc.setup.aterm.jp/>）（2020 年 8 月現在）にあるトラブルシューティングのページで、Wi-Fi 接続に失敗した場合の対処方法をご案内しています。
- ※ 本機器は N E C プラットフォームズ株式会社製の製造機器であるため、N E C プラットフォームズ株式会社のページを案内しています。
- スマートフォン／タブレット端末の環境や使用する Wi-Fi 機器との相性の問題により、正しく動作しない場合があります。その場合は、**STEP 2** の「手動で Wi-Fi 接続する」を参照して Wi-Fi 接続してください。

#### ■ Wi-Fi 接続できない

- 本機器と子機の距離を 1 ～ 3m に近づけて Wi-Fi 接続してください。
- 電波に影響を与える機器（コードレス電話機や電子レンジなど）から離れて接続してください。

#### ■ 無線 LAN 対応のプリンタから Wi-Fi 接続したい

プリンタの無線（ワイヤレス）機能を有効（ON）にしてから、本機器のネットワーク名（SSID）と暗号化キーをプリンタに設定してください。なお、WPS に対応している場合は、WPS 機能で Wi-Fi 接続できます。また、らくらく無線スタートに対応している場合は、らくらく無線スタートで Wi-Fi 接続できます。[ユーザーズマニュアル](#)

■ Aterm は、日本電気株式会社登録商標です。 ■ 5くらく無線スタート、5くらく QR スタート、5くらく「かざして」スタートは、NECプラットフォームズ株式会社登録商標です。 ■ Wi-Fi、Wi-Fi Alliance は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。 ■ Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。 ■ Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。 ■ Android は、Google LLC の商標または登録商標です。 ■ 「PlayStation」、[プレイステーション] および [PSP] は株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの登録商標または商標です。また、[PSP]、[プレイステーション・ポータブル]、[PSP]、[プレイステーション・ポータブル] go は同社の商品です。 ©Sony Interactive Entertainment Inc. ■ ニンテンドー DS、ニンテンドー DSi LL は任天堂の登録商標または商標です。 ■ Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。 ■ Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。 ■ iQR コード は、株式会社アンダーウェアの登録商標です。 ■ N マークは米国およびその他の国における NFC Forum,Inc. の商標または登録商標です。 ■ その他、各会社名、各製品名およびサービス名などは各社の商標または登録商標です。